

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和２年度 第４回鶴ヶ島市立南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和３年３月９日（火曜日） １４時２０分～１５時５０分
場所	鶴ヶ島市立南中学校 翔南ルーム
出席委員	内野泰司会長、矢島正明委員、鹿内信弘委員、 朝生三郎委員、三浦淳平委員 佐藤嘉子委員 千賀洋子委員、大塚肇委員、細川滋委員、杉原行雄委員 新井輝次委員、山中昭信委員、小池晴夫委員 廣田信子委員 宇津木克也委員、栗原啓介委員、内野昌史委員 伏見隆一委員（南小学校校長）、真武公司委員（南中学校校長）
欠席委員	２人 佐鳥のぞみ副会長、近藤茂委員
事務局	南小学校 山崎真由美教頭、松本靖久主幹教諭 南中学校 藤田茂教頭、高沢聖子主幹教諭、和田智史教諭
議題	(1) 令和３年度学校経営方針についての承認 (2) その他
配布資料	令和２年度第４回鶴ヶ島市立南小・中学校運営協議会資料 ○鶴ヶ島市立南小学校 ・令和３年度 学校経営方針（案） ・学校だより 第１２、１３号 ○鶴ヶ島市立南中学校 ・令和３年度 学校経営の方針について ・学校だより No.１１
公開・非公開	公開
傍聴人数	１人
会議要旨	(1) 令和３年度南小、中学校学校経営方針の承認 ・南小校長より「令和３年度南小学校経営方針」について説明をした ・南中校長より「令和３年度南中学校経営方針」について説明をし、質問・意見をいただき、その後承認をいただいた (2) その他（意見・質疑応答） ○貧困家庭の有無について ○農業大学跡地の計画予定について

【議事概要】

議題（１）

令和３年度学校経営方針についての承認

<会長>

２月に修学旅行が中止になって修学旅行は行けるのだろうかとかと教頭先生に聞く４月の初旬にいかれると言う話を聞きまして安心したとか良かったなと思うところです。今いろいろ大変ですけど、少しずつ良い方向に向かっていっていただければなと思っています。

それでは議事のほうに移らせていただきます。

令和３年度の学校運営方針の承認については学校運営協議会の１番の大きな議題になるかと思います。それでは最初に南小学校からお願いします。

<南小校長>

保護者・子供たち・教職員で学校評価をして、方向については概ね了解をされていたと言う認識です。しかし、課題を解決したわけではありません。従いまして、学校教育目標、学校像、教師像について本年度と同じ形で「キラキラと瞳輝く南の子」思いやりのある子、進んで学ぶ子、たくましい子です。ミッションとしましては笑顔と優しさに満ちた元気な学校を引き続き設定をさせていただきました。令和３年度の重点・努力点として(1)確かな学力と自立する力の育成、(2)番の豊かな心と健やかな体の育成につきましては熟議をいただき、やはり挨拶が課題ということで引き続き取り組んでいきます。(3)の地域、家庭との連携 幼稚園、中学校との連携ということで熟議の中で１つの繋がりとか地域との連携について議論をいただき、学校運営協議会を主軸としたコミュニティスクールが実現を目指しております。より具体的なものにつきましては来年度新しい組織でさらに加えるところもあると思いますがとりあえずこの項目についてご協議をお願いしたいと思います。

<会長>

ありがとうございました。それでは南中学校からお願いします。

<南中校長>

前回の熟議の内容で２つまとめさせていただきました。ICTの活用について、地域とどう関わっていくのかということグループでご協議いただいております。その内容が今年度の学校運営の方針をそのまま後押しをしていただくような内容であったことから、２年度の学校経営方針に加除修正をしてお示しをしています。学校教育目標、目指す学校像につきましては小学校と共に進めて変えずに行こうと思っています。特に目指す学校像３つ目の「社会に開かれ信頼される学校」、これは新しい学習指導要領にも謳われており、地域の中にある学校になるということが求められているところです。生徒像の「仲間と共に進んで学ぶ生徒」「感動する心と思いやりの心を持つ生徒」「自他の健康や安全を考え、他者や社会のために行動できる生徒」も、さらに深化させていきたいなと思っています。やはり南中学校南小学校を愛していただくということが、いろいろな事原動力となるので南中学校南小学校を丸ごと好きになっていただけるように学校からもアピールをしていくことと共にPTA、地域の方との連携協働ということをさらに進めていくべきであると感じました。そして、本年度の重点の「生徒が自律した学びの促進」については、引き続き課題として行きたいと思っています。その中で学び合いを小学校とともにさらに進めていくということ、ICT機器の活用と情報モラル教育については、加えていかなければいけない内容だと考えています。また、地域等と一層連携していくことが社会に開かれた学校、教育課程の実現のためには必要なことですので深化させていただきたいと思っています。来年度の学校運営協議会では具体的な策も含めてお示しできればと思います。以上になります。

<会長>

ありがとうございました。それでは委員の皆さんのご意見ご質問等がありましたらお願いします。

<委員>

- ・目指す児童生徒像の達成度をどのようにとらえているのか。

<校長>

あくまでも目指す生徒像で卒業するときにはできるだけこのような姿を目指したいというところです。生徒一人一人に個性があるのでそれぞれの分野で自分の得意なことを作って1つでも自信をもって身に付けて卒業してもらいたいです。

<委員>

- ・小中連携教育は何をしているのか。

<校長>

小学6年生が中学校に来て授業を行う体験授業やあいさつ運動、また、教育課程では小学1年から中学3年まで見通した授業を行うなどの一貫教育を進めているところです。

<委員>

- ・タブレットの普及と人間関係の指導について。

<校長>

紙で書く事、考える事は大切です。人間は人と人の中の協働でしか学べないことも多くあり大切にしていきたいと思っています。南小中では学び合い学習を続けています。学び合い学習は人と人との関わりの中で自分がどう考えるかというのを考えていく学習ですのでそこはぶれないようにしていきたいなと思っています。

<委員>

- ・先生方の年齢層（目指す教職員像）について。

子供にとって若い先生は魅力であり、先生が生徒を引き付ける力というのは、やはり年齢にはかないません。確かに年配の先生方にもいてほしいのですが、若い先生が情熱をもって指導してくれることが環境としては良いと思うので若い先生が新しいことを生徒に向けて発信することが子供たちにとっては良い刺激になると思いました。先生の想いというのは子供たちにストレートに伝わると思うので、先生の想というのは大切にしていきたいと思います。

<委員>

- ・ICT 機器活用とコミュニケーションの重要性の指導について。

ICT 機器を使えることで伝えたりする能力が伸びるのですが、やはり最終的には人の感情がそのままちゃんと伝えられることが大切であると子供たちによく教えてあげてほしいです。実際には顔を見て目を見て伝えることが非常に有意義であると思うし、コミュニケーション基本だと思っています。

<委員>

- ・社会人になる心構えとして、講演などの企画予定はあるのか。

<校長>

体験的な学習は大切だと思っています。今年度、弁護士の方に来ていただき模擬裁判授業をやってもらいました。全員が弁護士で被告も原告も裁判官も全部弁護士の方にやっていただいて、将来、裁判員裁判の裁判員

として行くことになるかもしれないのでお話をいただきました。また、中学生としての社会とのつながりの中の1つとして職場体験はすごく意味があることだと思います。

<委員>

- ・他の鶴ヶ島市内の小中連携について知りたい。

<校長>

鶴ヶ島市内の中学校5校は、中学校区ごと小中の連携をかなり進めています。必ず年何回かは中学校区で集まって研修会や話し合いをする機会を持っています。

<委員>

- ・小中学校先生方の業務負担と健康管理について。

熱い先生ほど一生懸命になりすぎて自分が参ってしまっではこの目標の達成できないと思いますのでぜひ管理職の先生方におかれましては若い職員年配の職員に問わず目をとがらせて先生方が元気でできることが子供たちにとって良い教育になると思いますので素晴らしい学校方針ではありますが先生方のご健康を留意していただいて目標に向かってやっていただければと思います。

<会長>

他にございますか。ないようでしたら学校経営方針につきまして皆さんの承認をいただき採決となります。それでは令和3年度の南小中学校の経営方針について承認していただける委員の方は挙手をお願いします。【委員全員挙手】

ありがとうございます。それでは全員賛成と言うことで本件は承認されました。本日の議題の(1)についてはこれで終了させていただきます。

議題（2）

その他

<会長>

次に皆さんから意見なり報告なりありましたらよろしくお願いします。

<委員>

- ・貧困家庭の有無について。

<南小校長>

実際にはあります。ただ保護者の皆さんが本当に頑張っているので子供に支障が出ていると言う事はありません。

<会長>

- ・農業大学跡地の計画予定について。

今月の19日に運動公園の周りの道路が開通して農業大学校の跡地につきましては南小中学校の児童生徒の投票で鶴ヶ島グリーンパークと言う名称に決まったと言う話をさしていただいたんですがそれとはまた別にいいですね運動公園と農業大学校の跡地のちょうど間に約14ヘクタール位を見の方で購入して今のところ仮の名称としてはロボット開発支援フィールドというものを立ち上げる計画があるようです。まずは最初の1ヘクタール位を来年度あたりに鍵の方で買収してその後順次と言うことになると思いますのでまだ先の話になるかと思いますがそういった計画があるようです。